

★令和2年8月のわくわく号運行予定★

※悪天候の場合は巡回を中止する場合がございます。
みなさまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



蘇陽地区	月日	巡回場所・時間
	8月5日(水)	馬見原保育園(午後10時20分～) 馬見原公民館(午前11時～) 蘇陽中学校(午後1時10分～) 菅尾保育園(午後2時30分) 二瀬本保育園(午後2時55分) 蘇陽小学童蘇陽キッズ(午後3時30分～)
	8月6日(木)	長谷交流館(午前10時30分～) 蘇陽南小学校(午後1時～) そよ風の里ほたる(午後1時50分～) 蘇陽苑(午後2時30分～) はあとふる・けあふる(午後3時～)
	8月7日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後0時30分～) 蘇陽小学校(午後1時10分～) まこと薬局駐車場(午後2時～) 蘇陽南小学童そよかぜ会(午後2時30分～) おおのまなび舎Cafe(午後3時～)
清和地区	月日	巡回場所・時間
	8月11日(火)	緑川簡易郵便局(午前10時40分～) 清和支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時10分～) 大川保育園(午後1時30分～) 清和学童(午後3時～)
	8月12日(水)	山都消防署(午前10時～) 井無田診療所横(午前10時45分～) 原尻公民館(午前11時30分～) 清和小学校(午後1時～) 支援ハウス(午後1時40分～) 市野原(午後2時～)
矢部地区	月日	巡回場所・時間
	8月13日(木)	矢部小学校(午後1時～)
	8月19日(水)	金内公民館(午前9時45分～) 中島西部コミュニティセンター(午前10時20分～) 中島西部瀬戸バス停(午前10時40分～) 中島南部体育館横(午前11時～) 矢部中学校(午後1時15分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時30分～) 大地(午後3時～)
	8月20日(木)	文化の森(午前10時～) 山風華(午前10時45分～) 山都町役場(午後0時30分～) 乳児園(午後1時30分～) ライフライト矢部(午後2時～) あおぞら・もやい(午後2時30分～) 富士ラーメン(午後3時～)
	8月21日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時35分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑(午後2時～) 金内保育園(午後2時20分～)

※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸出しに必要ですので必ずお持ちください。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。
※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

山都町図書館だより

声の灯り
— 155号 —

夏に読んじゃおう!この一冊!

暑い夏におすすめの一冊を紹介!読めばひんやりする本もあるかも!



遠野物語 remix
京極夏彦著
柳田國男著
角川学芸出版

「遠野物語」の新訳版。私たちのすぐ隣にある異世界へと誘います。雨の日にじっくりと寄り添う一冊です。



紙芝居 どっかーん
遠山昭雄監修
宮崎二美枝脚本
おかのけいこ絵
雲母書房

紙をめくれば、打ち上げ花火があがります!つぎはどんな花火かな?大人から子どもまで楽しめる紙芝居です。



スガリさんの感想文はいつだって斜め上
平田駒著
河出書房新社

感想文部を立ち上げた「スガリ」さん。数々の名作の感想文を書きあげるスガリさんが、学園の難事件も解決!?!一気読み間違いなしの一冊です!



平面いぬ。
乙一著
集英社

暑い日が続くけれど、少しでも涼しくなりたい...そんな方におススメです。ちょっと不思議でちょっと怖い、でも気になる、そんな世界が広がる短篇集4話が収録されています。



かき氷—天然氷をつくる

細島雅代 写真
伊地知英信 文
岩崎書店

冷蔵庫で作る「氷」ではなく、氷池で作られる「天然氷」。100年以上の間、伝承された知恵や技術によって作られる「天然氷」の過程を、丁寧に綴った写真絵本です。眺めるだけでも涼しくなります。

今月のあたらしい本

きたきた捕物帳

宮部みゆき 著
PHP研究所

江戸時代を舞台に、見習い岡っ引きの「北一」が、相棒の「喜多次」と出逢い、様々な事件を解決する捕物帳物語です。



今すぐはじめたい人の
キャンプ完全バイブル

ナツメ社

キャンプを始めたいけれど、どうすれば楽しめるのかな?そんな方におすすめの一冊です。ソロキャンプから、家族キャンプでも!服装や道具選び、季節ごとの遊び方も掲載されています。



●問い合わせ先 本館 73-1616 清和 82-3033 蘇陽 73-2755
開館日:火曜日から日曜日 休館日:月曜日・祝日・月末日

季節のうた

馬見原酔山会

「目射」と読むべし青葉山深き 本田 彰
親なれば云ふ事も多々茄子の花 畑野ふみよ
玄関の掃除いつまで夏つばめ 高田 真司

やまなみの会「山脈」

滝風にゆるる藤房仰ぎつつ 今村 芳子
戸を開けて五月の風を通しけり 天崎 信恵
アマビエと流行る妖怪夏に入る 橋本 恵子
イライラを大地に返し草取れば頭痛肩凝り遠きかりゆく 古閑比奈子
桜咲く山神山を我家より眺めて今年の花見は終わる 井上 紀子
人生の門出や転機をはばまれし若者負けるなコロナごときに 山下 明美

通潤閣法句会

参道に揺れて重たき八重桜 菊池 成河
田植機に背すじ伸ばして八十路かな 菅 清次郎
囀りは己が領域山の寺 菊池 幸子

清和短歌会

たちまちに夢が溢れて来る様なメールが届く五月の野より 吉永 恵子
三文の徳と思えば苦にならぬひと仕事終え朝茶をする 渡邊 民生
吾が家の木戸に咲き初む藤の花楚々と些ゆるるむらさき色に 梶原 徹

珠去て之も也

山本 淳子さん(米生) 作

書道

和光教室書道部